

第4回稲毛区地域福祉計画推進協議会議事要旨

【1】開催

日 時：平成24年3月3日（土）午前10時～午前11時50分
場 所：稲毛保健福祉センター 3階 大会議室
出席者：委員定数 31人
出席委員数 19人
事務局 10人 オブザーバー 1人

【2】次第

- 1 開会
- 2 委員長挨拶
- 3 議題（1）推進協だよりの発行について
（2）区地域福祉計画の推進について
 - ・地域別グループに分かれての情報交換・意見交換
 - ・発表（4グループ）
（3）その他
 - ・「区連協」東日本大震災被災地の視察について
 - ・委員の改選について
 - ・検討会について
- 4 閉会

【3】議事の要旨及び発言要旨

議題（1）推進協だよりの発行について

千葉市社会福祉協議会稲毛区事務所 担当鈴木より、広報委員会開催及び編集工程等の報告、並びに配付資料「稲毛区地域福祉計画推進協議会だより No.12（案）」（以下：推進協だより）について説明。

主な発言内容は以下のとおり。

（委員長）発行日はいつか。

（事務局）これから決定しますが、発送予定日は3月21日となります。

議題（２）区地域福祉計画の推進について

- ・地域別グループに分かれての情報交換・意見交換
- ・発表（４グループ）

・地域別グループに分かれての情報交換・意見交換

主な発言内容は以下のとおり。

（委員長）全体の意見交換も大事だが、近くに住む委員同士が地域別グループ（以下：グループ）に分かれての課題、取組み等の意見交換、情報共有が狙いである。

（委員）全体会議の中で地区部会ごとの取組みの発表があり、それを踏まえてのグループ討議なら分かるが、情報がないままグループに分かれるのは疑問であり、地域福祉の推進（以下：推進）は地区部会（以下：部会）が母体である。

（委員長）部会が推進の基盤とはなるかと思うが、母体はこの推進協である。また、少人数グループに分かれても意見交換はできる。これも一つの進め方である。他の委員、意見はどうですか。

（委員）区地域福祉計画（以下：計画）は部会が中心でやるのではなく、地域の様々な団体が集まり、みんなで進めるもの、この推進協もそのためにある。推進協は部会だけの集まりではない。また推進協は、部会の取組みに対し、自治会やNPO等の方々が提案や助言もしていただける有効な場でもある。

（委員長）予定どおりグループに分かれて進めます。グループは概ね近隣の部会ごととします。

このあと、４グループに分かれた後、原田委員長より、進め方について以下の提示があり、グループ討議へと進んだ。

- ①自己紹介（関心のある計画の重点項目とともに）
- ②関心の高い重点項目についての意見交換・情報交換
- ③その他（推進協のあり方、計画推進のアイデアなど自由に）
- ④発表（発表者は各グループで決定）

・発表

（Aグループ 山王／草野／緑が丘）

- ・基本方針２の具体的な取り組みにある「ボランティアの人材育成」「活動の中核となる人材の発掘」、計画の推進は、この２点に尽きるのではないかとの結論に至った。
- ・新しく担い手となる方をどう発掘していくか、発掘した人材をどう育て、継続していただくか、地域への視点をどう持っていただくか、そのようなことへの意見や助言

を推進協でお聞きしたい。

- ・地域での成功事例を推進協で発表していただき、学ぶとともに各地域へ持ち帰り、広げていけたらよいのではないか。
- ・今後の進め方として、大きなテーマでなく、より具体的に絞ったテーマを皆で議論し、深め、共有していけるといいのではないか。
- ・計画の進捗状況把握の必要性を感じた。

(Bグループ 小中台東／小中台西)

- ・推進協参加にあたり、各委員の意識の違いがあるのではないか。計画の推進を人任せにするのではなく、自分たち自身が臨む姿勢を変えるとといった意識改革が必要なのではないか。
- ・新年度初回の推進協の冒頭で、推進協へ臨む姿勢や意識の持ち方について、各委員への確に伝え、推進協をより有効な場にしていくとよい。
- ・同グループの方々の課題や取り組み等が手に取るように分かった。少人数に分かれてのグループ討議は、非常に効果があったように思う。
- ・何のために推進協をやっているのか、自治会長、障害者団体、公募の方等の参加があり、広い範囲で話が聞けるはずであり、そこをもっと上手に活用していけるといいのではないか。

(Cグループ 稲毛／稲丘／緑・黒砂)

- ・今後の進め方として、基本方針に沿ったテーマを決めての発表、また、欠席される方も意見があると思うので、事前にテーマを伝え、レポート等で発表していただくのもよいのではないか。
- ・広報について、緑・黒砂地区では防災に関する情報だけの広報紙が発行されたが、一つのテーマに絞った広報紙の出し方もいいものだと感じた。
- ・どこの部会で、何をどんなふうに行っているかが分からないので、各部会の取り組み事例などの紹介などもあるとよい。自分たちの部会では取り組んでいない良い事例があれば参考にし、広げていけたらよいのではないか。

(Dグループ 轟・穴川／千草台中学校／301【作草部・天台】)

- ・基本目標にある「みんなで支え合い」の部分は非常に重要である。
- ・基本方針2の具体的な取り組みにある「コーディネート組織の連携」について、どう進めていくか、地域の民間団体やNPO等の社会資源をいかに活用し、連携を深め、ネットワークを拡げていくか等が課題ではないか。

議題(3) その他

- ・「区連協」東日本大震災被災地の視察について
- ・委員の改選について
- ・検討会について

・「区連協」東日本大震災被災地の視察について

当該視察へ参加された渡邊委員より、視察被災地についての報告があった。

主な発言内容は以下のとおり。

(委員) 稲毛区町内自治会連絡協議会において、2月13・14日の2日に渡り、宮城県女川町、白石市を視察した。一番驚いたのが、一般住宅は全くなかったことである。高台から見下ろしたが、残っていたのは鉄骨の骨組み、横に転がってしまった建物、学校の校庭へ山積された瓦礫、作業者の姿はあったが、一般の方々や子供たちの姿はなかった。報道を見るよりも行ってみなければ分からない、大変な状況であったと感じており、この先も私たちが何かの力になれば、という思いを持っている。

(事務局) 今の渡邊委員から報告の件については、4月中旬発行の市連協だよりへ掲載となります。町内自治会の回覧等でご覧ください。

・委員の改選について

(事務局) 区推進協議会設置要綱により、委員の任期は1年となっている。委員の皆様には協議会運営の継続性の点から、引き続き継続していただきたいと考えています。今後、団体・組織等から推薦されている委員の方には、事務局から団体・組織へ推薦を依頼しますので、お話がありましたら引き続きお受け願えればと思います。また、団体・組織以外の分野から参加されている委員の皆様には、後日就任依頼の文書をお送りいたしますので、継続していただける方は必要事項を記入のうえ、事務局までご返送願います。なお、24年度第1回の推進協は、6月下旬か7月上旬を予定していますので、よろしく願いいたします。

・検討会について

(委員長) 副委員長とも話したが、今事務局からあった次回の推進協まで、約4か月空いてしまい、何も動きがない状況になってしまうのはもったいない。提案だが任意による検討会を次回までに開き、推進協のあり方、進め方等について協議できればと考えている。事務局から別途案内を発送するので、参加できる方はよろしく願います。

(副委員長) 年4回の推進協で皆さんの意見を引き出すのはとても難しい。全体で集まるのは難しいが、小さくとも集まり、そこで出された意見を全体の話し合いへつなげることができたら、新年度初回にテーマが出てくるのではないか。今日の皆さんからの意見も今後まとめて、新年度初回から提案していければ、今日の進め方も実りあるものになるのではないかと感じている。

事務局が閉会を宣し、第4回稲毛区地域福祉計画推進協議会は散会。